

「素晴らしい鍼灸医学を世の中に広める」

そのミッションを実行し続け、日々研鑽の20年

小峰ゆりかさん 鍼灸学科18期生（'93年卒）

〔院長・鍼灸師〕

とにかく面白いので

実践に学び、理論を学ぶ、その繰り返し。

行きつ戻りつ、螺旋階段を

上がるようにして今日がある。



●「やれる」と思ったのは？

コツコツ経験を重ねて、多くの患者さんに認めてもらえてから。初めは自分の治療に自身が持てず、試行錯誤の繰り返しでした。腕がすぐ上がるわけではないので、とにかく患者さんの話をよく聞こうとしていたうち「聞き上手だね」と言われるように。そのうち患者さんが「楽になったよ」と繰り返し来てくださり、口コミや紹介でまた人の輪が広がって、治療はもとより健康管理にかけがえない時間だといった感想を聞かせていただく、あ、少しは人のためになっているな、自分のために勉強したことを人に役立てる才能があったと、だんだん思えてきました。

子どもの頃から音楽が好きで、小学校からエレクトーン、中学・高校とフォークソング部。発声練習やコンサートもしつかりやっていた部活が楽しかったですね。仕事で精神的に疲れた時に、鍼に出会う前に癒されていたギターにふれたかと思っていましたが、どうしても指にできることが、脈診や体表観察には邪魔になってしまおうし、敏感な患者さんには不快感を与えてしまう。それでギターはやめて、しばらくピアノを弾いたりしていたのですが、東洋医学的にも、私の体質は歌うことで「脾」の働きを活発にしたほうが体調が良いので、たこを作らない程度に、時々弾き語りをしています。

仕事は楽しいことばかりではありません。月

Date of Birth : 1968.7.30 [44age]

18才の時からだをこわして激やせ。今思えば「神経性胃炎」。精密検査をしてもらってもどこも悪くない。食欲なく、ずっとしんどいの悪循環。家族にも「ナマケ病や」と言われ、肩や背中のこり、生理不順、便秘…、不定愁訴のオンパレード。そんな状態で鍼灸院に通い続けると、だんだん元気になってきて、不定愁訴が次々と消えていった。「こんな世界があったんだ」という喜び。どこの病院でも相手にしてくれなかったのに、東洋医学にはこれを治す治療法があるし、自分のからだをわかってくれたというだけでもうれしい。そしていま、ぼろぼろ涙を流している私と同じような患者さんがいる。鍼灸はデリケートな、からだ弱い人でも守ってくれる医学。すぐにでも鍼の学校に行きたいと思った。ただ自分のからだを健康にするために勉強したいと思った。仕事にできるかどうかはあとで考えよう。



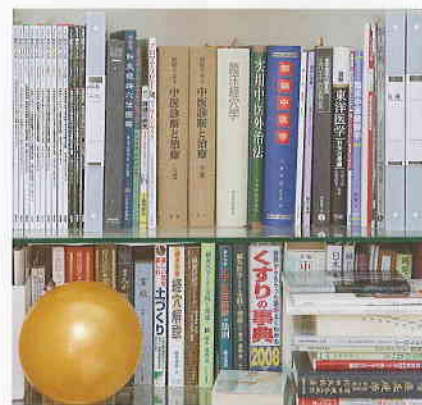
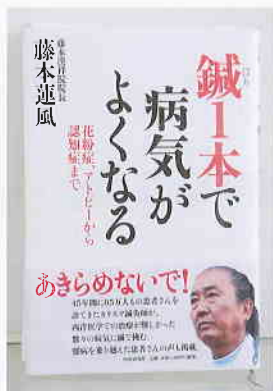
養生も大事、運動も大事、心の持ちようも大事。

並みな言い方ですが、苦しみを乗り越えてこそ喜びがやってくる。たとえば、ずっと続けているうちに、なかなか治せなかった患者さんを治せるようになっていく。10年前の自分だったら、いくら治療しても治せなかった病気を、しかも短期間で。それは、長年臨床を続けていけばこそ。ひたすら鍼を持ち続けていけば、腕も上がるし、鍼にパワーが宿ってくるし、さまざまな閃きも起こるし、毎日毎日研鑽することで、螺旋階段が上がっていく。それが患者さんの喜びにつながっているということ、治療家の喜びになる。

専門学校を卒業する頃には開業したい願望が芽生えてきました。それは患者さんのためというより、弱かった自分のからだだが、どんな元気になる不思議な世界に興味を湧き、とにかく実践してみたかったから。ただそれだけ。そして臨床を続けているうちに、学校では習えないこと、先達に教えてもらわないうとわからないことにもぶち当たり、在学中に「北辰会」に入会(※)。一人でやっている、この仕事は孤独になって視野が狭くなりがち。勉強会で同じ志の人と話す刺激を受ける。34才で開業して、結婚や子育てのパワーを全部鍼に注いでいる、という感じかな。北辰会でも教える立場になってきましたから、後進を育てること、鍼を伝えていくことに頑張りたいですね。

(※)北辰会：はくしんかい。伝統鍼灸に基づく臨床研究、啓蒙、後進の育成をはかる鍼灸学術研修会。代表は藤本連風氏。

この仕事は、実践から理論へ向かう。脈、舌、おなか、背中、つぼの状態、その無数の組合せやバランスで健康状態がわかる。東洋医学の古典の教え。すごい真理。『北辰会』を体験してみようと初めて行った時はまるで外国に行ったみたいだった。基礎知識がないとわからない。ただこれがわかったら面白いんだろうな、とワクワクさせる世界だった。それを治療に活かせるまでは膨大な時間がかかるとしても。昔から、徒党を組むよりも一人が好きタイプ。北辰会も今では会員が300人くらいに。私が入った時は50人くらい。私も古参の仲間入りで、准講師として会員に教える立場に。本音を言えばちょっと苦手。だいたい打たれ強くなったものの、陰でお手伝いする程度がいい。毎週金曜の朝に、藤本蓮風先生の治療を受ける。友人たちの間でも一番からだの弱かった私が、今では一番元気かも。ちなみに「20年鍼やっていたらがんにならない」とは蓮風先生の言葉。



女性院長のため、婦人科疾患の割合は少なくない。北辰会の治療法は全科に対応できるため、鍼灸の適応症に多い整形外科的な疾患はもとより、消化器や呼吸器、循環器など内科的疾患も治療する。花粉症やアトピーなどアレルギー症状にも効果的。がんなどの再発予防や免疫力アップなど、健康増進を目的に来院される方も多い。

鍼灸
漢方柚鍼灸院

大阪市中央区谷町5-1-3
山洋木下ビル1F
☎06-6762-3986
定休日:水曜・日曜
地下鉄各線「谷町四丁目駅」または
「谷町六丁目駅」より徒歩4分

7時半くらいに起きて、同居人である
兎、インコ、かめ、かえる、めだかに
えさをやり、植物に水をやる。自転
車で9時までに治療院に来て、午前
診は13時くらいに終了。お昼ご飯を
食べて、午後は15時半から診療。
終了はだいたい20時くらい。帰宅し
て、動物たちにえさをやり、ブログを
更新して、ギターを弾いて、終わり。

